

科目区分	専門分野	授業科目	成人看護学概論
講師	看護教員	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	1年次 第1学期
授業概要 *講師からのメッセージ	学生の皆さんも成人期にある「人」であることを意識し、自分自身をみつめるきっかけにし、学習してほしいと思います。また、大人の生活と健康に関する基本的な知識を基盤とし、大人の多様な健康状態や健康問題に対する看護アプローチの基本的な考え方や方法を学びます。そして、広い視野で人々の健康と、健康を支援するために必要な看護や役割を考えられることを目指したいと思います。		
目的：成人期にある対象を理解し、看護の役割について学ぶ 目標：1. 成人期にある特徴が理解できる 2. 成人期にみられる健康障害が理解できる 3. 成人期にある対象の看護に有効な概念が理解できる			
回	授 業 内 容	授業方法	
1	1. 対象の理解 1) 生涯発達の特徴 2) 成長発達段階の特徴 ①青年期(身体の発達・心理・社会的発達)	講義	
2	②壮年期(身体の発達・心理・社会的発達) ③向老期 3) 対象の生活 ①生活を営むこと ②仕事をもち働くこと	講義	
3	2. 生活と健康 1) 成人を取り巻く環境からみた健康	講義	
4	2) 成人の健康状況	講義	
5	3. 成人への看護のアプローチの基本 1) 大人の健康行動のとらえ方 ①大人の学習 2) 行動変容を促進する看護アプローチ ①自己効力感 ②エンパワメントアプローチ	講義	
6	3) 健康問題をもつ大人と看護師の人間関係 ①看護アプローチ ②チームアプローチ ③意思決定支援 ④家族支援	講義	
7	4. ヘルスプロモーションと看護 1) 健康づくり 2) 健康増進のための環境づくり 5. 健康を脅かす要因と看護 1) ライフスタイル健康障害	3校合同 グループワーク	
8	2) ストレスと健康生活 ストレスコーピング理論 3) 生活行動がもたらす健康問題とその予防	講義	
9	国民衛生の動向 人口動態について	講義(各校)	
10	国民衛生の動向 成人期の環境から健康障害について (各期の死因・婚姻・離婚・生活習慣病等)	講義(各校)	
11	6. 健康生活の破綻と回復を支える看護 1) 健康の急激な破綻 2) 急性期にある人の看護 危機理論・障害受容	講義	
12	7. 慢性病とともに生きる人を支える看護 1) 慢性病とともに生きる人の理解 病みの軌跡	講義	
13	2) 慢性病とともに生きる人を支えるセルフケア理論 3) 生活再構成への支援	講義	
14	8. 人生最期のときを支える看護 1) 自己決定を重視した医療へ 2) 人生最期のときにおける緩和ケア 3) 人生最期のときを過ごしている人の理解	講義	
15(45分)	終了試験		
16(45分)	まとめ	講義(各校)	
授業方法	講義、グループワーク		
評価方法	筆記試験(70点) 課題レポート(30点) 評価基準参照		
テキスト	医学書院：系統看護学講座 専門分野 成人看護学1 成人看護学総論 (財)厚生統計協会 国民衛生の動向 2024/2025		
備考	関連科目：看護学概論		